

自動車防災情報

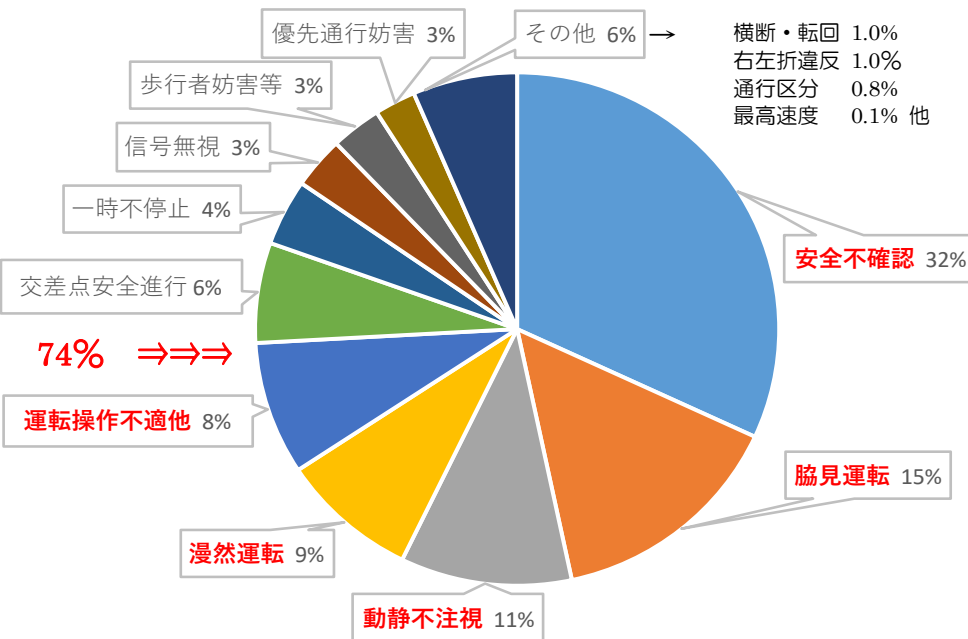
自動車事故の大半は『安全運転義務違反』が原因?! ～違反別事故原因では「安全不確認」や「脇見運転」が多い～

・交通事故の多くは、「速度違反」、「一時不停止」などの具体的な違反ではなく、ドライバーのちょっとした「不注意」、「甘い考え」、「油断」など【安全運転義務違反】が事故の主因です。

■『安全運転義務違反』が全事故の 3/4 を占める!

・原付以上運転者が第一当事者となった交通事故を法令違反別にみると、「安全不確認」が約3割(構成率 32%)でトップ、次いで「脇見運転」(同 15%)、「動静不注視」(同 11%)、「漫然運転」(同 8%)の順です。これらの『安全運転義務違反』が全体の 74%を占めています。【図1】

【図1:原付以上運転者(第一当事者)の法令違反別交通事故発生件数】 出典:警察庁・令和元年交通事故データ



【表1】 出典:警察庁・令和元年交通事故データ

法令違反別死亡事故件数と構成比			
1	漫然運転	456件	16.4%
2	脇見運転	363件	13.1%
3	運転操作不適合	341件	12.3%
4	安全不確認	321件	11.5%
5	歩行者妨害等	207件	7.4%
6	通行区分	146件	5.3%
7	最高速度違反	137件	4.9%
8	交差点安全進行	124件	4.5%
9	信号無視	112件	4.0%
10	一時不停止	77件	2.8%
外	酒酔い運転*	10件	0.4%

■は安全運転義務違反

■死亡事故でも『安全運転義務違反』が多い

・【表1】は法令違反別の死亡事故件数と構成比ですが、上位4位までがいわゆる『安全運転義務違反』類が占め、その合計は 53.3%と過半数を超えています。

・また、交通事故全体で最高速度違反の比率は0.1%と少ないものの【図1】、死亡事故では4.9%を占め、速度が高いほど重大事故になる可能性が格段と高くなっていることがわかります。